

# 眩しい白銀の世界を ファットバイクで駆け抜ける!



雪山を自転車で走る? そんなことができるのか? 答えはイエス。ファットバイクなら可能なのだ。雪深い森のなかを颯爽とツーリング! 大人も童心に帰る新感覚体験へGO。

\\ ご当地マドンナとゆく //

# 日本全国 ゆるり アウトドア旅

## 今回の旅先は……長野県小谷村!



長野県北西部に位置し、面積の88%を森林地帯が占める。中部山岳、妙高戸隠連山のふたつの国立公園を有する山に抱かれた雄大な景観が魅力。国内屈指の豪雪地帯としても知られ、村内に温泉も多く、冬季はスキー客で賑わう。

## 今回の先生

### 新井東珠さん

栃木県出身。アウトドア三昧の青春時代を過ごし、'13年に小谷村の地域おこし協力隊員に。「小谷ファットバイクセンター」を'16年にオープン。



## 今回のマドンナ

### 横川晶菜さん

愛知県出身。6年前に地域おこし協力隊の一員として小谷村に移住。現在は「おたり自然学校」のスタッフとして、地場資源を活かした事業「おたりの魔女」を担当している。



日本屈指の豪雪地帯として知られる長野県小谷村。今回は山塊に抱かれたここが舞台だ。雪深い森を颯爽と走る雪上ファットバイクツアーにトライする! マドンナとしてご登場いただいたのは、おたり自然学校でスタッフとして働く横川晶菜さん。晶菜さんは、主に「おたりの魔女」というプロジェクトを担当している。マドンナならぬ、魔女が今旅のゲスト。「周辺で採れた野草で作ったお茶などを商品化しています。昔ながらの知恵を活かして!」と晶菜さん。小谷村の暮らしは古くから山の恵みとともにあるが、時代の移り変わりとともにその営みや知恵は徐々に薄らぎつつある。しかしそこそが小谷の魅力でもあるはず。そこで、女性を中心に培われてきた昔ながらの技術を活かそうとプロジェクトが始動したという。さてさて、今日魔女が乗るのは箒ではなくファットバイクだ。インストラクターの新井東珠さんのレクチャーに耳を傾けつつも、自転車に久しく乗っていないと出発前から晶菜さんは不安げな表情を色濃く浮かべていた。「わわ、え、怖い! あ、いける」スタート直後、魔女のひとりごとが静かな森に響く。しかし走り出した自転車はすぐにスピードを増していった。案ずるより産むが易し? 安定性抜群の



走り出すと  
意外と軽～いノ  
スイスイ進む

小谷村は坂が多いため、自転車はかなり久しぶりに乗るといふ晶菜さん。初めはおっかなびっくりだったけど、すぐに慣れ笑顔も見えた。



出発前。ヘルメットを被り、右足にゲイター(裾の巻き込み防止用)を装着。「頼もしい～」と、極太タイヤを見る晶菜さん。



林間ツアーもいよいよ終盤。すっかり乗りこなしている晶菜さん、ライディング姿もなかなか様になってきている！



自転車に乗ったまま、しばし小休憩。この日、動物の姿は見えなかったけど、そこかしこに痕跡が。小谷の山深い自然を肌で感じる。



なんだか  
ふわふわ～

雪上を走るとふわふわとした独特の浮遊感がある。スキーやスノーシューとはまたひと味違った感覚だ。慣れて自然と速度も上がる。

## 旅のMEMO



おたりの魔女  
<https://otarinatureschool.net/otarinomama>

魔女が届ける  
山の恵み！

小谷村で昔から女性を中心に培われてきた山の営みを今に伝えるプロジェクト。野草茶や草木染の袋など、現代の要素を取り入れた商品を展開している。

バス停「<sup>つばき</sup>梅池高原」のすぐ近くにある喫茶 憩は地元の方にも愛されているお店。週末はモーニングセットもある。雪遊びは体力の消耗も激しい。アフターにここでたっぷり休息を。

喫茶 憩  
①長野県北安曇郡小谷村千国乙12840-1 ☎0261(83)2731  
②平日/11～20時、土日祝/7～21時 ※不定休

腹ペコに  
ポリニーム  
満点メシ！



焼きハンバーグ  
カレードリア 1,100円



小谷ファットバイクセンター  
<https://www.otarifatbikecenter.com/>

ファットバイクは箒に乗るがごとくスリットと雪上を進み出した周囲の景色に目を向ける余裕も出てきた様子。この日は比較的暖かい陽気で青空に雪が輝く。「走り出すと安定しますね！あ、楽しい。楽しくなってきた」すっかり笑みがこぼれている。魔法は不要？ 自力で乗りこなして、ちょっとした坂道もなんのその。ふわふわとした雪上ライド独特の浮遊感を満喫していた。「雪は生活を考えると除雪など大変ですが、豊かな財産でもあると思うんです。小谷は遊び場が豊富で、いつものフィールドがないかなと探しているんです。夏はこのファットバイクで川の中も走りますよ！」と新井さん。小谷村といえばスキーや登山が盛んな場所ではあるがこんな楽しみ方もある。スキー場で滑った翌日は、ファットバイクで雪上ライド！身長130cm以上で自転車に乗れば子供も参加可能だ。家族やグループでチャレンジしてみるのもいいかもしれない。

# オールシーズンいつでも素早い水分補給 ボトルゲージに収まる専用設計!

寒い冬のフィールドでも天気良ければツーリングは汗ばむ運動量。しばらく走ればウォーターチャージが必要だ。高い保温保冷機能を持つ自転車専用ボトルは強い味方になる!



飲み口に高さがあるので、傾けたときに大量に流れ出る心配がない。少量ずつ口に運べとくに熱いものが飲みやすい設計だ。



最大胴径約73mmで一般的なボトルゲージにフィットする。自転車に跨ったままでも片手でサッと取りだすことが可能だ。



せんユニットは取り外してパーツの隅々まで洗浄可能。いつでも清潔に保てる。



フタはロックリングが付いたワンタッチオープン式。片手でも操作可能だ。

サッと素早く取りだし  
すぐに水分補給できる  
温冷はお好みで!



真空断熱ケータイマグ/FJF-580 各3,800円

保温効力は6時間後も70度C以上、保冷効力は6時間後も10度C以下といずれも高い機能を誇る。温かいコーヒーにするか、冷たいスポーツドリンクにするか、どちらを入れていくかはアナタ次第!